

学芸員補助スタッフ紹介

はじめまして。4月から学芸員補助スタッフとしてプラネタリウム投影を担当しております加守田優(かもだ ゆう)と申します。以前は「兵庫県立大学 西はりま天文台」というところで天文指導員をしていました。具体的には、鏡の直径が2mもある日本最大の公開望遠鏡「なゆた」を通して、星たちの、あるいは宇宙そのものの面白さに触れていただくお手伝いをしていました。

さて、せっかくですから少し宇宙のお話を。私たちの住むこの地球から最も近い天体、月までの距離はおよそ380,000km。地球を照らしてくれている太陽までの距離はおよそ150,000,000km。その次に近い恒星(自分で光る星、太陽の仲間の星)までの距離はおよそ40,000,000,000,000km。では宇宙の果ては……? なんて書き表してみると、「いや、0何個あるねん!」といった感じで、星や宇宙の遠さを実感させられます。

でも、こうも思うのです。

_____星は、宇宙は、本当に遠いのでしょうか?

わたしたちが外に出て空を見上げれば、その向こうにはいつだって宇宙が広がっています。両者の間には、遮る檻も、ガラスもありません。空を見上げさえすれば本物の宇宙が見えています。そう考えてみると、星や宇宙が少し近いもの感じてきませんか?

空を見ろということは、宙を見ろということ。

なんて格好つけて書くと、ちょっと大きさにみえてしまうかもしれませんね。

残念ながら私の力では、皆さんと星たちとの間を隔てているこの凄まじい物理的な距離を縮めることはできません。それでも、心の距離ならば縮めることができる、と信じています。

皆さんにとって星が、そして宇宙が、より身近なものになるよう微力を尽くしてまいります。これからどうぞよろしく願いたします。



加守田 優(プラネタリウム担当)